

子どもの空間はどこ？



03 子どもの空間はどこ？

～子どもの世界では大人は『見守り役』～



今の時代は ...

- 木登りは子どもが身体能力を高めるためのとても有効な遊び
→ その有効性よりも怪我をさせないことの方が優先されている

ボールを使った遊びも ...

- ボール遊びはさまざまな身体機能を高めてくれる有効なツール
→ ボールを使った遊びを禁止する公園が多い
ボール遊びができる公園（フェンスで囲むなど）はめったにない



本来、子どもたちは群れて遊ぶ中で、体力とともにコミュニケーション能力を育みます。しかし、遊ぶ場所や内容が限られているため身体運動を伴ったコミュニケーション機会が激減しています。

大人から教わる「習いごと」のような環境では
《自己判断能力》や《自己解決能力》は高まりません！



きょうだいゲンカの際、まずは大人が介入せず、できるだけ放置することが重要です。サッカーでも、大人が細かいトレーニングドリルを与えて手取り足取り指導するより、子ども同士で楽しくミニゲームを積み重ねている方が、確実に成長できます。**教え込むのではなく「見守る時間」をできるだけたくさんつくることで、遊び場を失った子どもたちの損失を埋め合わせなければなりません。**他チームとの交流試合でも、大人がポジションを決めるだけではなく、**子ども同士で決める時間を提供することがとても重要な「失われた空間の穴埋め」**になります。



子どもには《自分で学習して成長する能力》が備わっています
その能力を生かせる空間を与えてあげましょう！

(時間と場所)